

令和4年1月21日

国際人間科学部の学生のみなさん

国際人間科学部長
青木茂樹

授業の実施方法の見直しにつきまして

令和3年度後期の国際人間科学部での授業実施については、大学の基本方針に沿って、鶴1キャンパスでは演習科目を中心に鶴2キャンパスでは講義科目も含めて対面授業を基本とする対応を取って来ましたが、これまでは、みなさんや教職員による感染予防策により感染者数を低く抑えることができておりましたが、1月に入ってから陽性者の報告が入り始めています。

後期の授業も残すところ2週間まで来ていますが、感染が拡大するリスクを避けるため、現在、対面やハイブリッドで実施している授業に関して、授業担当の教員に1月24日(月)から遠隔による実施への切り替えの検討をお願いしています。その結果、それぞれ授業によって、遠隔に切り替える場合と対面やハイブリッドを継続する場合の両方の可能性があります。

遠隔に切り替える授業については、各授業科目のBEEFを通じて、ZoomのURL等が周知されますので、授業担当教員からの連絡に注意して下さい。大学に登校後に遠隔への切り替えがわかった場合は、これまで授業で使用してきた教室をアクセスポイント教室として利用し、当該の遠隔授業を受講して下さい。

急な変更とはなりますが、急速な感染拡大に対してリスクを抑えるための緊急措置であることについての理解をお願いします。

以上